

“焼き芋”で支援

栗東町のボランティア

阪神大震災

「被災した方々の日常生活は
救援物資により一応満たされ
てはいるものの、先行の見通
しがつかない生活に、まだま
だ戸惑いが感じられた」と話
すのは、栗東町ボランティア



センター勤務の鈴木喜美子さ
ん、同センター所属の小学生
ボランティアグループ「一歩」
の指導者、山田貴子さん、辻
充子さん。3名は2月11日に
「焼き芋」で炊き出し支援をと
紹介のあった西宮市立安井小
学校へ車で赴いた。教室や隣
接する公民館には、今も400人
余りの人々が被災者生活を送
っており、食事は、ボランテ
ィアが暖かい炊き出しをする
以外、市販のパンや弁当ばか
り。とりあえず焼き芋器（セ
ラミック石使用）で450個を焼き
かけると、現地の要望で支援
物資のさつまいも10ケース分
も焼くことになった。焼ける
までの待ち時間は、紙芝居で
楽しんでもらいながら水あめ

（せんべい付）が配られた。「暖
房がかかると空気が乾燥して
いるのどが潤う」と「お
かわり」の声もかかった。で
きた焼き芋は、暖かくて柔か

い上珍しく、寝たきりでも食
べられる為、子供（約50人）か
ら老人にまで喜ばれた。現地
の方々の「また来てほしい」
の声に、3月5日は、サーク
ル「一歩」の子供達20人も一
緒に現地を訪れ、焼き芋の他
校舎内の清掃活動、現地の子
や神戸製鋼の有志らとサッカ
ーの親善試合を行った。

県内外20チームで

第3回玉川

サッカーフェスティバル



サッカー日和りとなった2
月18日、19日の両日、野村運
動公園グラウンドで「第3回玉

川サッカーフェスティバル」
があり、主催の玉川ナイス
キッズサッカークラブ（小川豊
会長、スポ少団員山名）が、富
山県の八尾・上滝チームをは
じめ、県内外の強豪20チーム
を招待し、優勝を競った。

このフェスティバルは、3
年前、草津選抜と富山選抜の
交流会で意気投合した富山の
コーチから「雪のため冬場は
体育館で練習している」と聞
き「土の上で練習を」と声掛
けたのをきっかけに、冬は
草津で、夏は富山へといった
具合にホームステイを混じ
えながら、毎年行き来し、招待
のお礼を兼ね続けられている。
当日は、昼食にトン汁500食
が用意されるなど暖かい接待
で交流を深める一方、各チ
ームも試合では日頃の練習の
成果を遺憾なく発揮し、白熱
したゲームを展開した。
結果は各学年ごとに優勝チ
ームが決定し、トロフィーと
賞状が授与された。（6年の部）
伊勢田チーム（京都）（5年の
部）上滝チーム（富山）（4年
の部）老上チーム（草津）（3年
の部）志津チーム（草津）